

1 平成26年度 事業報告

1 会議の開催

会議名	開催日	内 容
理事会	H26. 5. 26	平成25年度 事業報告並びに収支決算報告について 評議員の選任について 次期評議員の選任について 次期理事長・副理事長の選任について 次期顧問の選任について
	H27. 3. 27	平成26年度 資金収支補正予算(案)について 平成27年度 事業計画(案)並びに資金収支予算(案)について 経理規程の一部改正(案)について
評議員会	H26. 5. 26	平成25年度 事業報告並びに収支決算報告について 理事の選任について 監事の選任について 次期理事及び監事の選任について
	H27. 3. 27	平成26年度 資金収支補正予算(案)について 平成27年度 事業計画(案)並びに資金収支予算(案)について 経理規程の一部改正(案)について
児童館運営委員会 (社協運営8館)	H26. 6. 13～ 7. 16	平成25年度運営報告並びに会計決算について 平成26年度運営計画並びに会計予算について
善意銀行・芝田カナエ 基金運営委員会	H26. 6. 25	平成25年度 預託及び払出状況について 平成26年度 払出計画について 理事長感謝状贈呈について

2 高齢者福祉の推進

(1) 地域見守り活動の推進

高齢者の総合相談窓口である区内7ヶ所のあんしんすこやかセンターに「見守り推進員」を配置し、民生委員児童委員協議会等と連携して、ひとりぐらし高齢者等を地域住民間で見守る福祉コミュニティづくりを支援した。

① 小地域見守り連絡会の開催

地区民児協を単位に、見守り活動の課題や個別ケースの対応を検討し、活動に関する情報交換を行うため、連絡会を開催した。

・年間開催回数 55回

② 小地域ネットワーク連絡会への参加

小地域見守り連絡会の内容をうけ、あんしんすこやかセンター圏域の関係者が集まり、情報交換や講師を招いての学習を行う小地域ネットワーク連絡会へ参加した。

- ・年間参加回数 10回

③ 高齢者自立支援拠点「あんしんすこやかルーム」事業

新しい見守り事業形態として、平成19年度より高齢化率の高い公営住宅の住戸等を活用し、高齢者の自立を支援する拠点(あんしんすこやかルーム)づくりに努めるとともに、その運営を支援した。

<主な活動内容>

- ・見守り活動(対象住宅及び周辺住宅)
- ・健康づくり・生きがいづくり活動への取り組み
- ・コミュニティ支援への取り組み
- ・支援者間の情報交換の場としての活用

対象住宅	開設日	開設場所	ルーム名
市営房王寺住宅 (名倉あんしんすこやかセンター圏域)	H19. 10	同住宅住戸	あんしんすこやかルーム 「めぐみ」
市営丸山東住宅 (名倉あんしんすこやかセンター圏域)	H22. 3	同住宅住戸	あんしんすこやかルーム 「のぞみ」
市営神楽住宅・市営細田住宅 (御蔵あんしんすこやかセンター圏域)	H22. 3	シューズプラザ 4階	あんしんすこやかルーム 「せせらぎ」
久二塚東住宅・久二塚西住宅・ 久二塚西ふれあい住宅 (新長田あんしんすこやかセンター圏域)	H23. 1	アスタくに づか5番館	あんしんすこやかルーム 「てつじん」
市営真野住宅 (真野真陽あんしんすこやかセンター圏域)	H23. 3	浜添通民家	あんしんすこやかルーム 「おちやのま」

(2) 高齢者見守り調査の実施

区民生委員児童委員協議会とともに、65歳以上の単身世帯や見守りが必要となるリスクの高い75歳以上の方のみで構成される世帯を対象とした調査を実施した。

(3) ひとりぐらし高齢者友愛訪問活動の推進

民生委員児童委員が中心となった友愛訪問グループに対し、助成金を交付するとともに、「友愛訪問ハンドブック」を配付する等活動を支援した。

グループ数・人数	332グループ 1,595名
安否確認をおこなった回数	162,482回
対象高齢者数	2,840名

(4) ひとりぐらし高齢者ふれあい給食会の支援

区内のひとりぐらし高齢者ふれあい給食サービス事業を行うグループに対し、助成金を交付するなど活動を支援した。

グループ数	30グループ
実施回数	382回
延べ参加者数	15,522名

(5) コミュニティサポートグループ育成支援事業

① コミュニティづくり支援事業

地域住民相互の見守り活動の一層の推進を図るため、あんしんすこやかセンターを通じて、見守り活動やコミュニティづくりを目的とした活動を行う地域住民やボランティアグループの育成支援を行った。

・グループ数 18グループ

② 介護予防啓発地域活動づくり支援事業

あんしんすこやかセンターや地域団体等が主催し、健康チェックや転倒予防体操、茶話会などを行い、高齢者が生きがいを持って楽しく生活することができるよう介護予防の啓発を進める事業の支援を行った。

・事業数 6事業

(6) テレフォンサポート事業の実施

週2回、火・木曜日の午後に、ボランティアにより、ひとりぐらし高齢者宅へ電話等による訪問を行った。また、月1回連絡会を開催し、高齢者福祉に関する学習会や情報提供を行い、ボランティアの育成に努めた。

・ボランティア 7名 対象高齢者 8名 実施回数 94回

(7) 歩行杖の交付

善意銀行の預託金を活用して購入し、区内在住の70歳以上の希望者等に歩行杖を有料交付した。

・交付本数 458本



(8) 高齢者マッサージ奉仕の実施

区視力障害者福祉協会、鍼灸マッサージ師会、ふれあいのまちづくり協議会等の協力を得て高齢者マッサージ奉仕を年2回実施した。

- ・平成26年6月13日(金) 9:00~13:30 丸山コミュニティセンター 参加者35名
- ・平成26年9月12日(金) 10:00~13:30 細田地域福祉センター 参加者40名

(9) 高齢者支援の調査・研究

高齢者の理解普及のための事業を小学校で実施した。

- ・「認知症学習会」の開催

日 時 平成27年2月12日(木) 13:50~15:45

場 所 池田小学校

参加者数 3年生児童 50名(2クラス)

3 子育て支援・児童福祉の推進

(1) 市社協児童館の管理・運営

区内にある10館の児童館のうち神戸市社会福祉協議会が指定管理者となっている市立児童館8館・学童保育コーナー3コーナーについての管理・運営を行った。

	児童館名	年間利用者数	平均利用者数	放課後児童クラブ登録児童数 (平成26年度末)
1	真野児童館	14,046名	48名	28名
2	志里池児童館	16,610名	57名	35名
3	長楽児童館	14,976名	51名	40名
4	片山児童館	16,422名	56名	35名
5	池田児童館	18,236名	62名	64名
6	大日丘児童館	12,760名	44名	26名
	丸山学童保育コーナー	2,131名	7名	11名
7	長田児童館	11,066名	38名	9名
	御蔵学童保育コーナー	8,601名	29名	33名
8	細田児童館	29,759名	102名	60名
	蓮池学童保育コーナー	11,238名	38名	45名
社協運営児童館 計		155,845名	平均48名	386名

(年間開館日数292日)

*平成27年度より、大日丘児童館、丸山学童保育コーナーの運営は雲雀ヶ丘福祉会に指定管理者が変更となっております。

<参考：他団体運営児童館>

児童館名	年間利用者数	平均利用者数	放課後児童クラブ登録児童数 (平成26年度末)
五位の池児童館 (運営：神戸新生福祉会)	7,515名	26名	24名
駒栄児童館 (運営：近田幼稚園)	18,874名	65名	44名
計	26,389名	46名	68名

(2) 区内児童館の運営支援

区社協子育てコーディネーターが市社協運営の児童館8館、学童保育コーナー3コーナーと駒栄児童館、五位の池児童館の運営支援を行った。

① 児童館指導員研修会の開催

児童館職員の研修会を開催した。

ア. 指導員研修会 3回 (6月3日、7月8日、10月3日)

イ. 学童保育指導員研修会 2回 (9月4日、10月7日)

② 地域の子育て支援

ア. 親子館事業の支援

児童館が実施する「すこやかクラブ」「キッズクラブ」「なかよしひろば」等、保育所(園)や幼稚園に通っていない乳幼児とその保護者を対象とした「親子館事業」の運営について、助言や支援を行った。

イ. 出前児童館の実施

児童館が近くにない、または、学校の長期休業期間中などの理由により、児童館を利用しにくい乳幼児親子が集える場をつくることを目的に、児童館職員の協力を得て「出前児童館」を実施した。

【「よーせて！ひろば」として区こども保健係、地域子育て応援プラザ長田と共同開催】

日 時	場 所	参加者数
平成26年7月23日(水) 10:00~12:00	池田南部公会堂	大人8名 幼児9名 スタッフ13名
平成26年7月24日(木) 10:00~12:00		大人13名 幼児16名 スタッフ12名
平成26年8月6日(水) 10:00~12:00	特別養護老人ホーム「長田ケホーム」	大人13名 幼児12名 スタッフ15名
平成26年8月7日(木) 10:00~12:00		大人8名 幼児9名 スタッフ14名
平成26年8月27日(水) 10:00~12:00	特別養護老人ホーム「ふたば」	大人14名 幼児15名 スタッフ13名
平成26年8月28日(木) 10:00~12:00		大人10名 幼児13名 スタッフ13名

ウ. 地域で子育て元気アップ事業

児童館を拠点とした、地域ぐるみの子育てを支援するため実施した。

<実施館 池田児童館>

- ・日 時 平成26年10月25日(土) 10:00~15:00
- ・内 容 ながたっ子 ハロウィンパレード
- ・参加者数 156名

- <実施館 志里池児童館>
- ・日 時 平成26年11月16日(日) 9:30~13:00
- ・内 容 しりいけおみこし大作戦
- ・参加者数 611名

- <実施館 長楽児童館>
- ・日 時 平成26年11月30日(日) 10:00~13:00
- ・内 容 さがせ!ちりモン!!
- ・参加者数 102名

エ. PAPAプロジェクトの実施

父親の育児参画を促し、子育て家庭における夫婦の調和、親子の絆を確かなものにする。また、地域における子育て支援に父親が参加し、育児参加の推進を目的に実施した。

- ・日 時 平成27年2月22日(日) 10:00~12:00
- ・場 所 細田児童館
- ・内 容 ベビーダンスと家族の幸せ手相占い
- ・参加者数 64名 (父親14名 母親16名 祖父母2名 子ども25名、その他7名)

(3) 子育てコミュニティ育成事業(児童館の休日開放)の推進

地域ぐるみで子どもたちの健全育成を図るため、各児童館施設を休日に活用して、施設開放や行事を開催することにより、コミュニティ作りを支援した。

- ・実施団体 地区民児協、主任児童委員連絡会、婦人会、子ども会、青少協、ふれまち協、小・中学校PTA、自治会、ボランティア等
- ・実施内容 自由開放、工作教室、おやつづくり、料理教室、季節のおまつり等
- ・実施児童館 区内児童館全館

(4) 小地域子育て支援ネットワークの推進と組織化

地域組織や事業者、学校、施設、行政等が、児童館を拠点とした小地域単位で連携し、情報交換や課題検討を行うことによって、地域の子ども達が健やかに育つための環境づくり(場づくり・人づくり等)を目的とした連絡会を支援した。

【平成26年度実施地区】

	校 区	事務局
1	真陽小学校区	駒栄児童館
2	池田・長田小学校区	池田児童館
3	室内・御蔵・水木小学校区	長田児童館

4	駒ヶ林小学校区	長楽児童館
5	蓮池小学校区	細田児童館

(5) 区内児童館合同行事の実施

わくわく☆おたのしみ会～みんなで楽しくすこやかさん こんにちは～ の開催

目 的 2～3歳児を在宅育児中の親子のうち、児童館のすこやかクラブに登録している会員同士の交流

日 時 平成26年7月3日(木) 10:15～11:30

場 所 長田区役所7階 大会議室

対 象 区内児童館(10館)のすこやかクラブ会員親子

参加者数 205名 (大人71名、乳幼児86名、その他48名)

(6) 区内保育所(園)合同行事の実施

「第29回長田区保育園・保育所5歳児地域交流会」の開催

目 的 公立、私立の保育所(園)の5歳児が、老人クラブ、主任児童委員と共に運動会遊びをして、世代間交流を図る。

日 時 平成26年10月24日(金) 9:40～11:30

場 所 兵庫県立文化体育館

参加者数 608名 (5歳児393名、老人クラブ100名、その他115名)

(7) 長田区こども保健係等との連携

こども保健係等と連携をとりながら下記の事業に参加した。

① 「カンガルーフェスタ」への協力

児童館コーナー内容:「カプラであそぼう」

日 時 平成26年12月5日(金) 9:30～12:00

場 所 長田区役所6階・7階

参加者数 親子 175組(375名) スタッフ他25名

② 情報誌「よーせて!」の発行

「こども保健係」「地域子育て応援プラザ長田」と連携し、区内の子育て支援情報をまとめ、情報紙を発行した。(発行回数 6回)

③ 子育て支援ネットワーク実務者会議などへの参加

④ 出前児童館を「よーせて!ひろば」として実施【再掲】

(8) 絵本を通じた子育て支援事業の実施

情緒豊かな子どもを育てるため、絵本を通じた子育て支援事業を昨年度に引き続き実施し、神戸常盤大学やNPO法人等と連携し、乳幼児期から絵本に気軽に親しめるような環境づくりに努めた。

絵本こうかん市場の開設、運営

絵本の有効活用と絵本を通じた子育て環境の整備、学生ボランティア活動の拠点づくりを目的に「絵本こうかん市場」を開設。長田中央市場、神戸常盤大学、NPO法人と連携をとりながら運営を行った。

- | | | |
|-------|------|---------------------|
| 【1号店】 | 設置日 | 平成20年5月 |
| | 設置場所 | 長田中央市場内 |
| | 運営協力 | 特定非営利活動法人 輝いけだ |
| 【2号店】 | 設置日 | 平成21年2月 |
| | 設置場所 | カフェ&ベーカリー ふらわあぼえむ |
| | 運営協力 | 特定非営利活動法人 中央むつみ会 |
| 【3号店】 | 設置日 | 平成21年12月 |
| | 設置場所 | 放課後等デイサービス よりみちクラブ |
| | 運営協力 | 合同会社らっかす (平成26年4月～) |
- (『カフェ パセリとはなこ』が別法人化・名称変更)

(9) 子ども会諸活動の支援

区子ども会連合会が実施する親子の交流活動に対して助成を行った。

4 障がい者福祉の推進

(1) 長田区自立支援協議会への参画

区内の障がい者福祉関係団体によって設立された「長田区自立支援協議会」に区健康福祉課とともに運営委員として参加し、障がい者団体の活動を支援した。

(2) 障がい者福祉団体等への支援

障がい者福祉団体等の活動を推進するため6団体に対し助成を行った。

(3) 障がい者小規模作業所の支援

善意銀行や歳末たすけあい募金の財源で、障がい者小規模作業所等16施設に対し活動助成を行った。

(4) 手話講座(入門編)の開催

手話の実技を通して、聴覚障がいのある方への理解と知識を身につけるため手話講習会を実施した。

- ・開催期間 平成26年6月24日～平成26年12月2日(全22回)
- 毎週火曜日 10:00～12:00

- ・参加者数 延べ 193名 (応募者数 12名、修了者数 9名)

(5) 子ども手話講座の開催

小学生を対象として手話と聴覚障がいのある方についての理解を深めてもらうための子ども向け 手話講習会を実施した。

- ・開催日 平成26年7月29日(火) 14:00~16:00
- ・参加者数 22名

(6) 小規模作業所新商品開発実行委員会への参加

障がいのある方々が作る商品を開発・改良していくために結成した委員会の事務局を運営した。

- ・商品開発会議～「改革の日」の開催(12回、毎月5日)
- ・商品展覧会～「見本市」の開催(平成26年11月16日一七市拡大版にて)
- ・商品開発のための研修～「ツボ講座」の開催(平成27年1月13日)
- ・ひと・まち出会いフェスティバル出店(長田公民館)(平成27年2月26日、27日)
- ・もとまちハートミュージアム出店～商品展示(神戸風月堂元町本店)

(平成26年4月5日、平成27年3月28日)



- ・小規模作業所新商品開発実行委員会ホームページのコンテンツページの追加

5 ボランティア活動・福祉教育の推進

(1) ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアセンター事業の強化、向上を図るため、事業計画の助言や事業評価を行う「ボランティアセンター運営委員会」を開催した。

- ・開催日 平成26年6月25日(水) 15:00~16:00
- ・内容 平成25年度事業報告及び事業評価について
平成26年度事業の実施に関して

(2) ボランティアコーディネーションの実施

長田ボランティアセンター・それいけネットワークの運営を通じ、誰でも気軽にボランティア活動に参加できる基盤づくりに努めた。

① コーディネート業務(ボランティア活動に関する登録・相談・受付・紹介・調整)

- ・ボランティア登録 個人 103名 グループ 206団体(H27.3末)
- ・ボランティアしたい(相談含む)件数 延べ 72件
- ・ボランティア依頼(相談含む)件数 延べ 92件
- (*その他の相談件数 延べ 1,491件)
- ・活動成立件数 個人 6件 グループ 72件(H27.3末)

② ボランティア活動の支援

- ・ボランティアルームの運営委託

委託法人：特定非営利活動法人ネットワークながた

(長田区三番町2-2-6 3階)

- ・兵庫県ボランティア・市民活動災害共済の受付 581件
- ・県民ボランティア活動助成の受付 58件
- ・古切手、使用済みカードの収集・整理活動 12回

③ ボランティア講座の開催

講座名 / 内容 / 特徴	開催期日	参加者数
若手ボランティア育成研修 (神戸常盤ボランティアセンター協力)	平成26年8月29日(金)	32名
夏ボラッ! 2014 ・長期学校休業を利用して、中高生の地域活動への参加を促進	平成26年7月17日(木) ～8月18日(金) (延べ7回)	39名
中高生向けボランティア・社会体験活動 (夏ボラッ! 2014) (共催:長田神社前商店街振興組合)	平成26年8月9日(土) 荒天のため中止	—
団体向け講座グループ虎の巻 助成金講座 ・ひょうごボランティア基金申請方法 ・助成財団の紹介	平成26年7月10日(木)	32名
福祉講演会 震災20年記念事業 ①「みんなの福祉講演会～フシギナ音曲 デンキ紙 芝居 森のあるきかた after311」	①平成26年11月29日(土)	① 74名
②「みんなの福祉講演会～フシギナ音曲 デンキ紙 芝居 きつねべんとう」 区民啓発活動として開催	②平成26年12月10日(水)	② 122名
災害登録ボランティア研修 ・事前講習	平成26年8月23日(土)	4名
災害ボランティア実地研修 ・丹波市市島町	平成26年8月24日(日)	4名

(3) 地域団体等との協働の取り組み

区内のボランティア、NPO が協働で行う各種実行委員会の主催や参加を行った。

① 小規模作業所 新商品開発実行委員会への参加 (事務局) 【再掲】

② 「1.17KOBE に灯りを in ながた」実行委員会への参加

阪神・淡路大震災の犠牲者への追悼行事として開催される、ろうそくに灯りをともす市民参加型の本事業の事務局を担い、実行委員会を運営した。

・日 時 平成27年1月17日(土) 10:00～22:00

- ・場 所 新長田駅前広場
- ・内 容 ろうそくへの点灯、追悼ライブ、震災の記憶を風化させないよう情報を発信した。

- * 「ろうそくづくり」には、神戸常盤大学附属ときわ幼稚園、北須磨保育センター、長田南小学校、蓮池小学校、兵庫大開小学校、駒ヶ林中学校が参加。ろうそくづくりにあわせて、震災体験や減災への取り組みを講義した。
- * 「東北被災地支援・交流コーナー」では、兵庫県立大学の協力により、被災者と学生やスタッフ、来場者との交流を行った。

③ いちばで元気運営委員会への参加

ア. 子どもいちばの実施

小学生が近隣の障がい者小規模作業所を訪問して商品作りに参加し、作成した商品を長田中央市場で販売する等、小規模作業所と連携をとりながら実施する福祉教育プログラム。

実施日	室内小学校	平成26年10月24日(金)
	長田小学校	平成26年11月27日(木)
	宮川小学校	平成27年1月29日(木)

イ. 「サンタがうちにもやってくる」の開催

ボランティアグループ「サンタ団」と協働し、7歳以下の児童の家庭(20世帯)に保護者から預かったクリスマスプレゼントをサンタクロースの衣装を着た「サンタ団」が配達する子育て支援プログラム。

④ ユニバーサルデザイン普及のための活動

長田区におけるユニバーサルデザインの普及をめざし、次の事業を実施した。

ア. CD版「福祉教育・ボランティア学習のてびき」「ユニバーサルデザイン編」の販売

イ. ユニバーサルデザイン体験グッズの貸し出し

ウ. 長田区ユニバーサルデザイン研究会への参加

- ◇研究会定例会への参加(12回、毎月第3木曜日)
- ◇「第13回神戸UD大賞」実行委員会の参加
- ◇「長田フェスティバル」へのUDブース参加
- 日 時 平成26年5月17日(土) 9:30~18:00
- 場 所 新長田駅前・若松公園・鉄人広場
- ◇出張授業への講師協力

⑤ 一七市拡大版(福祉フェア)の開催

区内の障がい者の小規模作業所が中心となり、小学校や企業が連携したイベント「一七市拡大版2014」を開催した。「あの日の思いやりの心を忘れぬために」をテーマに年1回開催しており20回目の開催となった。

- ・日 時 平成26年11月16日(日) 10:00~15:00
- ・場 所 鉄人広場(新長田)
- ・内 容 小規模作業所の出店やステージアトラクションなど

*東日本大震災の被災地支援活動として、「東北の子ども達に絵本を送ろう」という運動を行い、絵本の寄付を募った。東北地方に出来る新しい小学校、地域の図書館へ贈った。

(4) 福祉教育・ボランティア学習の支援

備品の貸し出しや教材の発行並びに福祉教育プログラムの作成支援を通して、福祉教育・ボランティア学習の推進を図った。

① 体験学習のための車いす・アイマスク等の貸し出し

貸出件数：区内 延べ19件

(池田小、五位ノ池小、宮川小、室内小、丸山小、真野小、長田小、蓮池小、駒ヶ林小、名倉小、西代中、長田商業高校)

区外 延べ4件

(水木小、東落合小、大開小、神陵台小)

② 講師紹介及び福祉教育プログラム作成支援・体験学習授業

実施回数 15件

実施校 池田小、五位ノ池小、宮川小、室内小、丸山小、真野小、蓮池小、駒ヶ林小、長田小、長田商業高校

③ 『福祉教育・ボランティア学習のてびき』の発行

ア. CD版「福祉教育・ボランティア学習のてびき」の販売

- ・発行年度 平成16年度
- ・販売総枚数 1,188枚(26年度販売枚数2枚)

イ. CD版「ユニバーサルデザイン編」の販売

- ・発行年度 平成19年度
- ・販売総枚数 392枚(26年度販売枚数2枚)

④ 中学生向け福祉教育プログラム開発調査研究・実践

中学生向け福祉教育プログラム開発に向けた調査を行った。

また、学校と地域団体・福祉施設との連携を推進した。

- ・夏休みボランティア体験事業「夏ボラッ!2014」を実施

平成26年7月17日(木)~8月18日(月) 参加者 延べ39名

※8月9日実施予定であった「きもだめしボランティア」は荒天のため中止となりました。

(5) 神戸常盤ボランティアセンターと連携事業の実施

- ・神戸常盤ボランティアセンター運営委員会への参加
- ・絵本こうかん市場への協力

6 地域福祉の推進

(1) 共同募金・歳末たすけあい募金運動の推進

① 共同募金運動

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金に協力するとともに、共同募金を財源とした福祉啓発事業や民間福祉活動への助成などの事業を行った。

(平成 26 年度募金実績額)

		内 訳	
目標額	6,433,000 円	広域目標額 2,069,000 円	地域目標額 4,364,000 円
実績額	5,671,809 円 (達成率 88.2%)	広域実績額 2,069,000 円	地域実績額 3,602,809 円

(配分実績) *平成 25 年度募金実績による配分金

分野	配 分 先	金 額
高齢者	地区民児協、区老連、老人いこいの家等	398,512 円
	高齢者マッサージ奉仕事業、敬老会タオル助成	251,561 円
障がい児・者	障がい児・者福祉団体(視力、聴力・言語、重心父母の会、手をつなぐ育成会)	263,024 円
	作業所新商品開発事業HP更新	50,432 円
児童・青少年	児童福祉団体(区子連、青少協、少年団野球)、小地域子育て支援ネットワーク、母子福祉たちばな会	464,752 円
その他	区民児協、体協、保護司会、遺族会、婦人会、一七市拡大版実行委員会、1.17KOBE に灯りを in ながた実行委員会	1,015,292 円
	広報紙による福祉情報提供等 福祉教育車椅子購入	1,400,815 円
合 計		3,844,388 円

② 歳末たすけあい募金運動

11月中旬から12月中旬にかけて区連合婦人会が中心となり募金運動を実施し、多数の区民や団体から募金が寄せられた。

(平成 26 年度募金実績)

目標額 4,800,000円 実績額 4,400,937円 (達成率 91.7%)
 (配分実績) 11月18日に開催された配分委員会で審議

配分先	件数	金額
ひとりぐらし高齢者	3,938名	2,062,724円
交通遺児	9名	45,000円
小規模作業所への助成	16ヶ所	787,392円
給食サービスグループ	28グループ	1,035,228円
歳末たすけあい募金活動に伴う助成	16団体	371,300円
合計		4,301,644円

(2) 民生委員児童委員協議会との連携

① 高齢者見守り調査の実施【再掲】

② 生活福祉資金の貸付相談及び受付

低所得者・高齢者・障がい者世帯の経済的自立と生活の安定のため、相談及び申請受付を行った。

また、平成21年10月からの制度改正により、失業や収入の減収による日常生活困難な世帯に対し生活費等の申請受付を行った。

(相談件数：延べ1,878件)

資金種類	件数	金額	備考
総合支援資金 (①生活支援費・②住宅入居費・③一時生活再建費…※)	10件	3,868,000円	※区社協申請受付・決定分のみ
緊急小口資金	2件	200,000円	
福祉資金 (その他一時的必要経費・洗濯機購入費)	1件	64,000円	
福祉資金 (その他一時的必要経費・クーラー設置費)	2件	194,000円	
福祉資金 (その他一時的必要経費・転宅費)	2件	678,000円	
福祉資金 (その他一時的必要経費・風呂給湯器設置費)	1件	189,000円	
福祉資金 (障害者自動車購入経費)	1件	598,000円	
教育支援資金 (就学支度費・教育支援費)	52件	19,405,400円	※内貸付辞退2件 919,800円
合計	71件	25,196,400円	

※ ①生活支援費 7件 3,120,000円・②住宅入居費 1件 398,000円・③一時生活再建費 2件 350,000円

③ 指定地区民児協活動の支援

平成26年度は丸山地区が全国社会福祉協議会指定、長田中央東部地区が神戸市社会福祉協議会指定を受け、同地区民児協は課題として設定した事業に重点的に取り組み、区社協は支援のため助成を行った。

(3) 要保護者緊急援護資金の償還業務

要保護世帯で緊急に費用が必要となる世帯への貸付に係る償還業務を行った。

- ・償還件数 12件
- ・償還金額 12,000円

(4) 善意銀行の運営

広く区民や企業や団体から善意の預託を受け、地域福祉を推進する団体等に払い出した。

① 預託状況

- ・金銭預託 60件 939,764円
- ・物品預託 23件 (日用品、食品、チケット等)
- ・技術預託 4件 (施設児童の七五三参りの衣装貸出、着付け、記念写真撮影等)

② 払出状況

- ・金銭払出 (振込手数料含む)

分野	内容	件数	金額
高齢者福祉	歩行杖の購入	200本	199,800円
	音楽コンサートチケットの購入	120枚	100,000円
	窓口貸出用老眼鏡購入費	10個	73,440円
障がい者福祉	障がい者団体等への助成	6団体	180,000円
	小規模作業所への助成	16団体	479,612円
被災者支援	火災・水害等の見舞金	4件	150,000円
その他	助成金等の振込手数料		16,848円
合計			1,199,700円

- ・物品払出 (区内社会福祉施設、団体、ボランティアグループ等)
- ・技術払出 (児童福祉施設2施設)

③ 物品貸出の状況

- ・車いす貸出事業 168件
- ・綿菓子機、ポップコーン機等イベント用機材の貸出 94件

(5) 芝田カナエ基金の運営

長田の子どもたちの幸せを願う寄付者の希望に沿って、児童の福祉を推進する行事等の支援を行った。

内容	金額
交通遺児への支援	240,000円
区内児童福祉施設等の備品購入助成	300,000円
区内児童福祉施設等入所中児童への就学助成	30,000円

子ども会行事への助成	20,000円
5歳児地域交流事業	99,808円
絵本こうかん市場管理費	72,000円
児童館合同行事	80,000円
家庭養護促進協会への支援	27,000円
赤ちゃんホームに対する物品購入助成	30,000円
その他	50,000円
その他(助成金等の振込み手数料)	8,856円
合 計	957,664円

(6) 広報啓発活動

① 広報および福祉情報の提供



ア. 区社協広報紙「それいけながたNo.29・No.30」の発行

- ・発行回数 年2回(9月・3月)
- ・発行部数 94,000部(47,000部×2回)

イ. ボランティアセンター情報誌「季刊それいけながた」の発行

- ・発行回数 年4回(平成26年6, 9, 12月, 平成27年3月)
- ・発行部数 1,200部(300部×4回)

ウ. 区社協ホームページの運営 <http://www.nagatavc.org/>



エ. 「週刊それいけながた」の放送(地域FM局「FMわいわい」による情報発信)

番組を利用し、ボランティアセンターの事業や福祉教育、地域イベント情報等を発信した。(毎週火曜日 12:30 から 15 分間放送) 年間52回放送

② 福祉教育教材の作成、発行

ア. CD版「福祉教育・ボランティア学習のてびき」の販売【再掲】

イ. CD版「ユニバーサルデザイン編」の販売【再掲】

(7) 福祉講演会の開催【再掲】

- ① 日 時 平成26年11月29日(土) 14:00~16:00
 テーマ 「みんなのふくし講演会~フシギナ音曲 デンキ紙芝居
 森のあるきかた -after 3 1 1-」
 参加者数 74名
- ② 日 時 平成26年12月10日(水) 14:00~16:00
 テーマ 「みんなのふくし講演会~フシギナ音曲 デンキ紙芝居
 きつねべんとう」

参加者数 122名

(8) 施設部会活動

第29回長田区保育園・保育所5歳児地域交流会」の開催

目的 公立、私立の保育所(園)の5歳児が、老人クラブ、主任児童委員と共に運動会遊びをして、世代間交流を図る。

日時 平成26年10月24日(金) 9:40~11:30

場所 兵庫県立文化体育館

参加者数 608名 (5歳児393名、老人クラブ100名、その他115名)

(9) その他(災害支援等)

丹波市市島町豪雨災害による被災地支援のボランティアバスへ参加

- ①神戸市社会福祉協議会が被災地支援のボランティアバスを運行。
「神戸常盤ボランティアセンター」と協力し、当会登録ボランティアと共に災害ボランティアに参加。
- ・活動日 平成26年8月24日(日)
 - ・場所 丹波市市島町
泥掻き・家屋洗浄等の支援活動
 - ・参加者数 延べ10名

②現地社協へ資材(マスク、軍手等)を寄付。

7 地域福祉ネットワーク事業

平成26年4月から地域福祉ネットワークを配置し、既存制度では解決できない問題や、地域の人々がまだ問題と認識していない福祉課題などについて地域の住民や団体、行政、専門機関などと話し合う場を持ち、協力して問題解決の仕組みづくりに取り組んだ。

(1) 個別相談ケースへの対応

民生委員児童委員等から近隣に対する迷惑行為を行う高齢女性についての相談を受け、区あんしんすこやか係、区内あんしんすこやかセンター、民生委員児童委員、近隣住民と対応を協議する機会を持った。

<その他の相談>

- ・毎日のように「さびしい」と訴える高齢女性への対応
- ・食事のたかり行為をする高齢女性について
- ・知的障害の子どもを抱える高齢夫婦への対応について
- ・ごみ屋敷について など

(2) 住民活動拠点づくり支援事業

住民の高齢化や減少が進む地区において、より地域に密着した通いやすい場所に、少人数

が気軽に集える場をつくり、地域内に潜在している支援者の予備軍発掘、高齢者等の能力活用、生きがいつくり、支援者ネットワーク構築など住民活動の拠点とすることを支援した。

平成26年度は、①近隣に住民が集まれる集会所等がない、②立地や交通機関の関係で高齢者等が既存施設（地域福祉センター等）に通うのが困難、③空家が増加し新たに地域活動に参加する住民が減っているなどの理由から、特に必要性が高いと思われる長田区長者町・高東町を中心に拠点づくりを進めた。

平成26年3月～12月 丸山民児協で拠点づくりについての説明を行い、候補となる空家等の情報を収集

平成27年1月 長田区長者町に拠点場所を確保

平成27年2～3月 拠点開設に向けた準備を支援

平成27年3月20日 民生委員児童委員・友愛ボランティアが中心となり、近隣住民を対象としたお茶会を開催

(3) 大規模市営住宅等の生活支援の仕組みづくり

高齢化が進み、日常生活上の課題を抱える住民が増加している大規模市営住宅等において、日常生活支援や災害時の助け合いなどを視野に入れ、住民が相互に支え合いを行う新たな仕組みづくりの支援を行った。

① 活動に関心がある人の掘り起し、住民ニーズの把握への支援

② 生活支援活動グループの組織化の支援

・あんしんすこやかルームが行う研修・話し合いへの参加・協力

第1回 平成26年11月8日(土)『認知症』について

第2回 平成26年12月13日(土)『ボランティア』について

第3回 平成27年2月14日(土)市民救命士講習

第4回 平成27年3月14日(土)車いす講習

・住民交流会実施への協力

第2回研修後のグループワークで、「どんな活動ができるか」を話し合い、住民間、メンバー間で信頼関係をつくることを目的として平成27年4月に「住民交流会」を開催することになった。

<交流会開催に向けた話し合いへの参加>

平成27年1月30日(金)

平成27年2月14日(土) ※研修後

平成27年2月25日(水)

平成27年3月14日(土) ※研修後

平成27年3月31日(火)